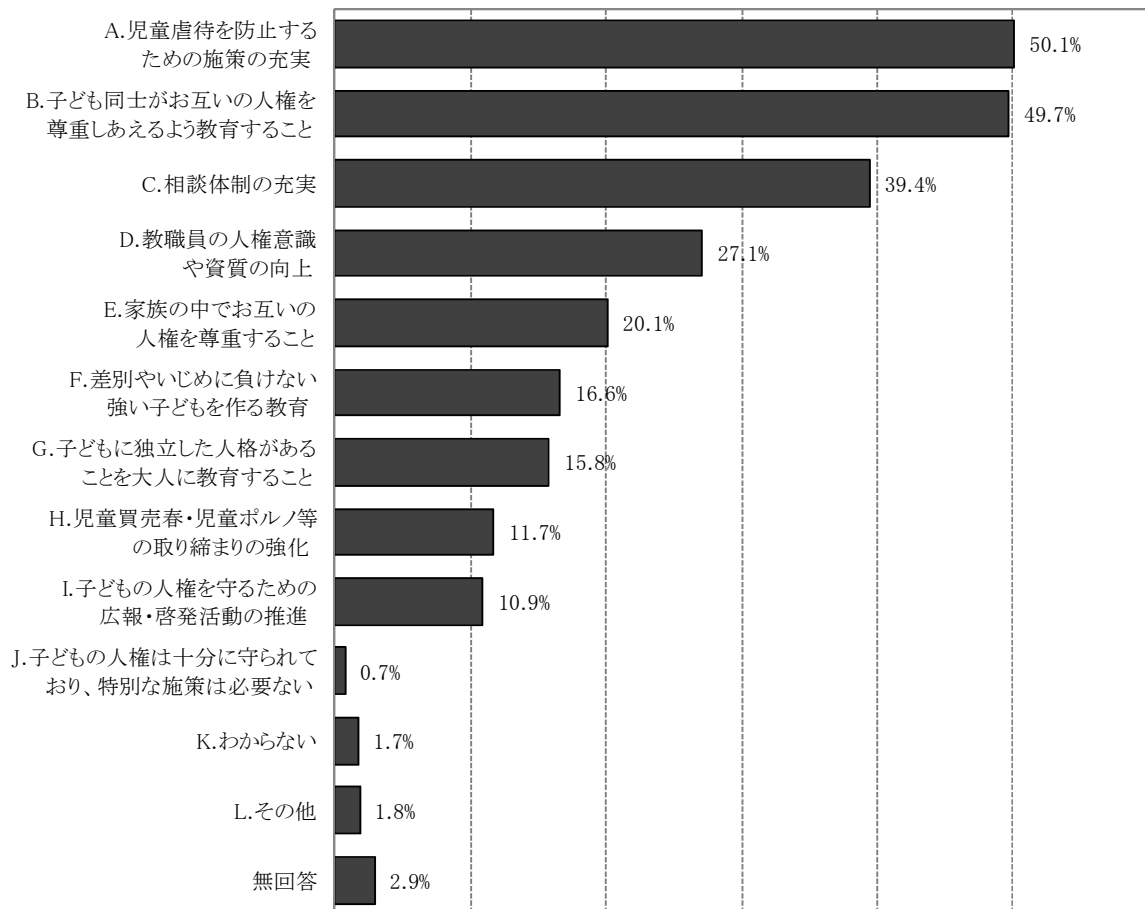


問 20 (子どもの人権を守るために必要な取り組み)

子どもの人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。(は3つ以内)



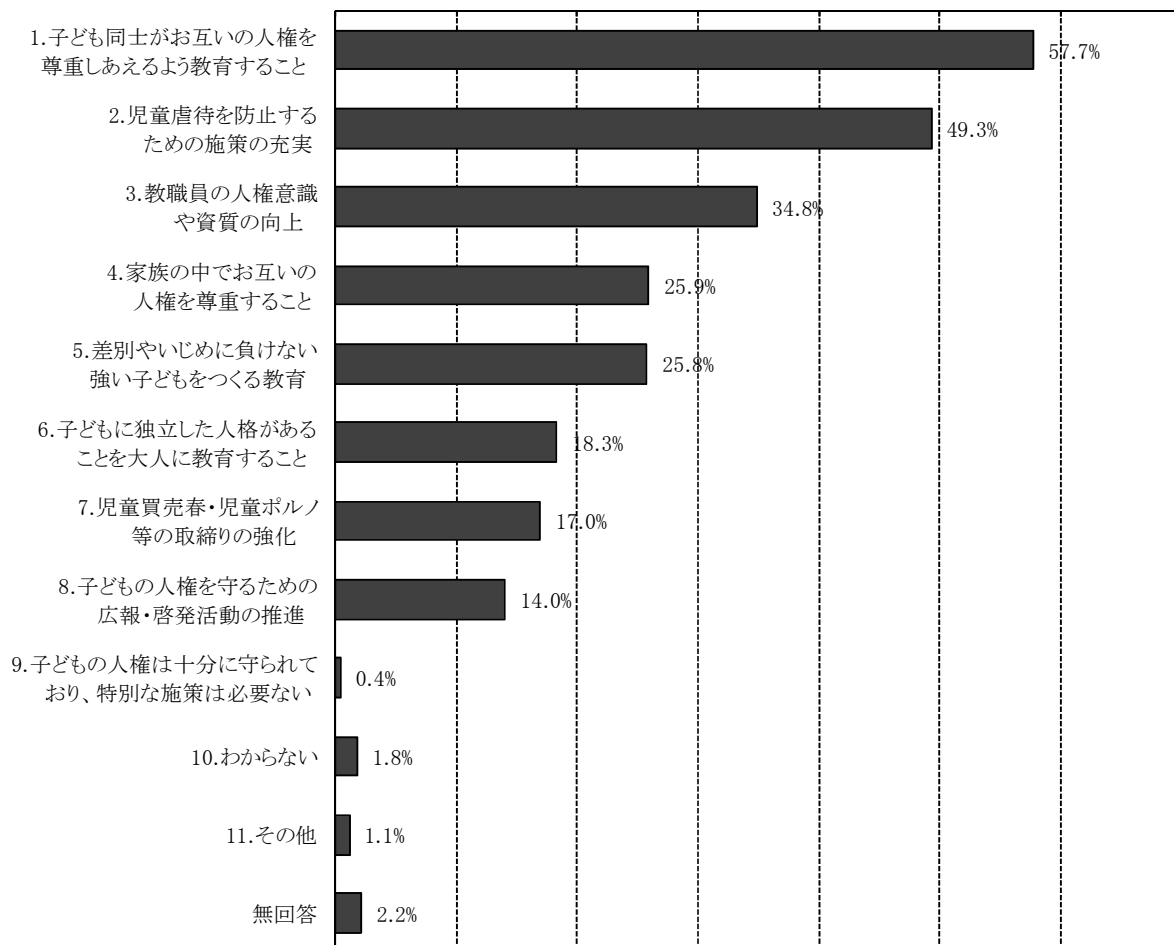
■子どもの人権を守るために必要なこととして、「A. 児童虐待を防止するための施策の充実」(50.1%)、「B. 子ども同士がお互いの人権を尊重しあえるよう教育すること」(49.7%)が高かった。

次いで、「C. 相談体制の充実」(39.4%)、「D. 教職員の人権意識や資質の向上」(27.1%)などが高くなっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

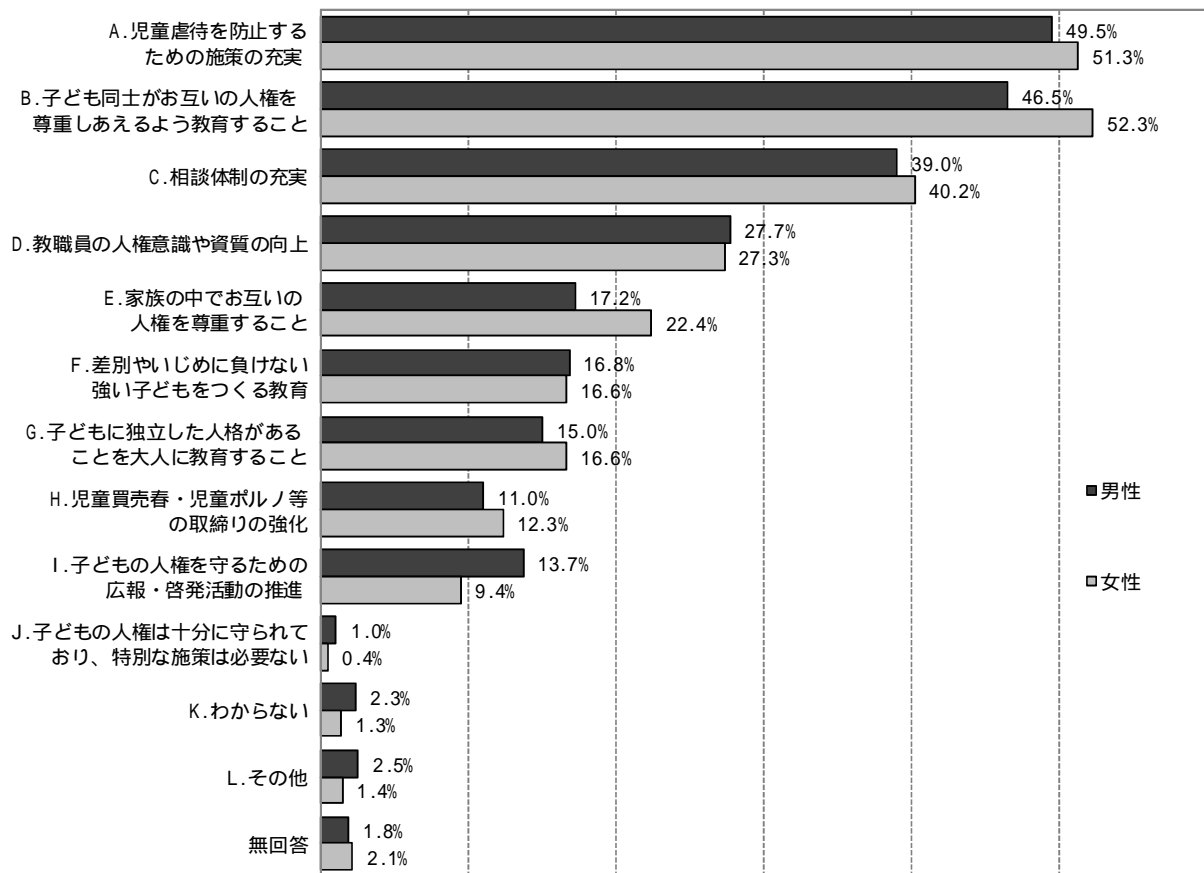
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 18 子どもの人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。次の中から特にあなたの考えに近いものをお答えください。（は3つ以内）



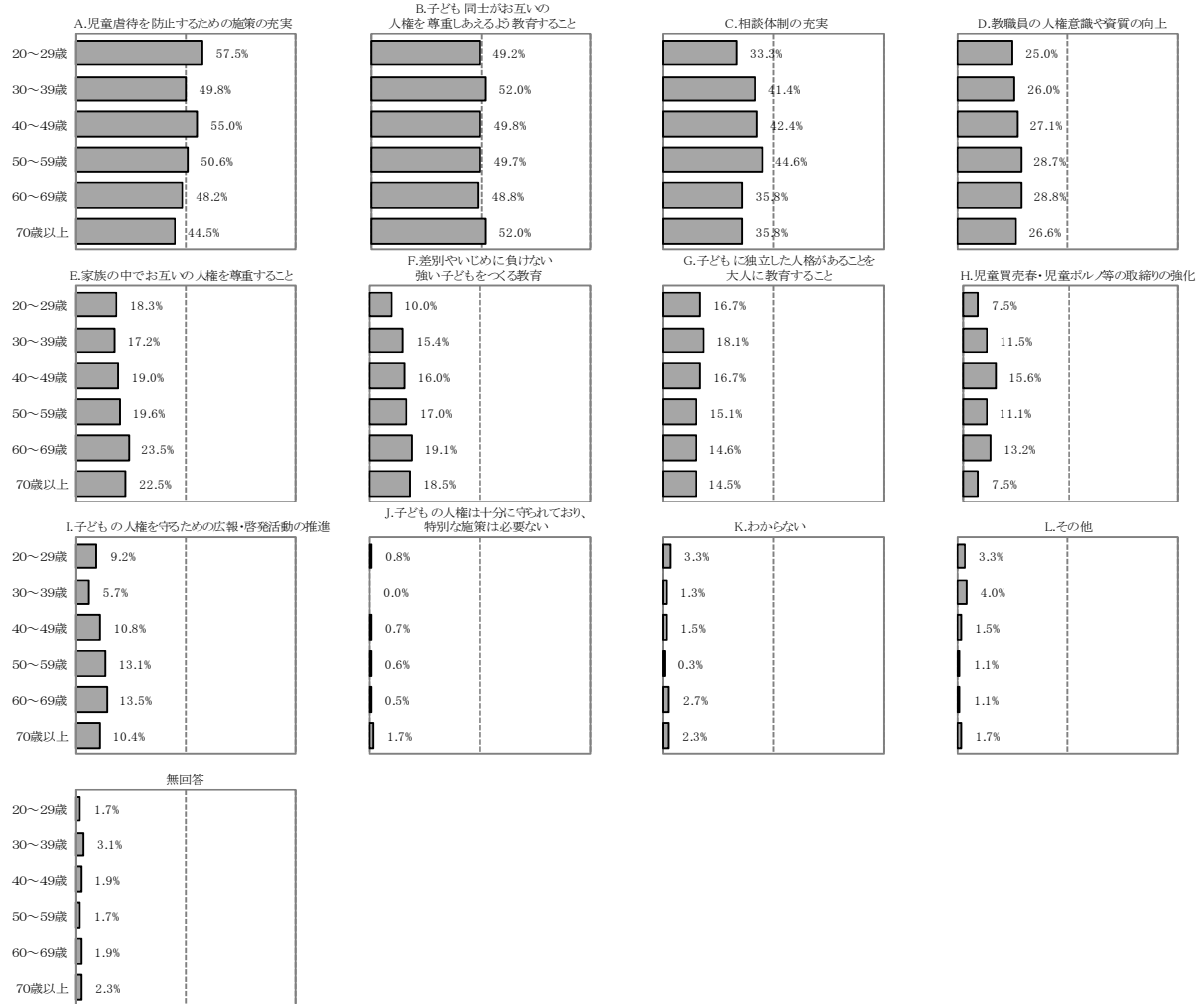
【性別・年齢との関係】

〔図 20-1〕 問 20 子どもの人権を守るために必要な取り組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 20-1〕、男女とも「A. 児童虐待を防止するための施設の充実」(男性 49.5%、女性 51.3%)、「B. 子ども同士がお互いの人権を尊重しあえるよう教育すること」(男性 46.5%、女性 52.3%)が高かった。

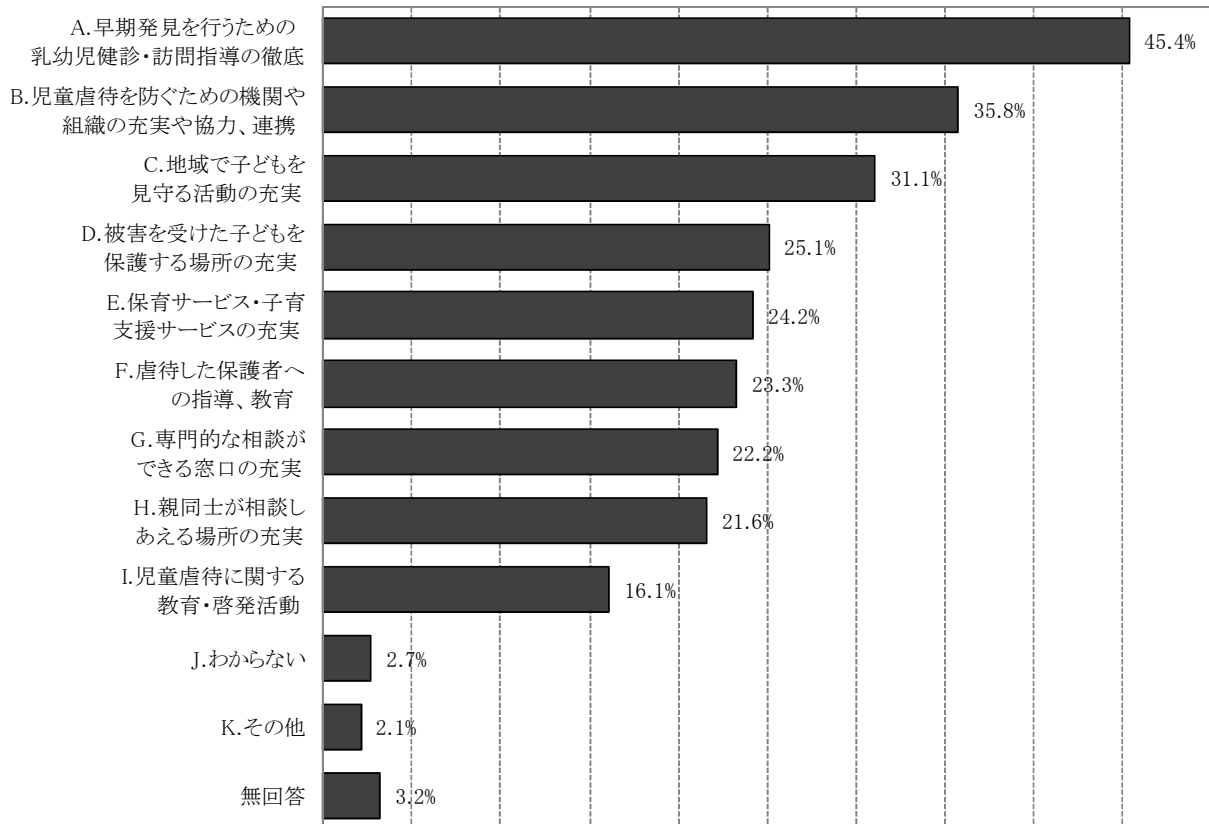
〔図 20-2〕 問 20 子どもの人権を守るために必要な取り組み と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 20-2〕、「A. 児童虐待を防止するための施策の充実」は20歳代(57.5%)、40歳代(55.0%)、50歳代(50.6%)が5割を超えており、「B. 子ども同士がお互いの人権を尊重しあえるよう教育すること」では各年代ともほぼ5割前後となっている。

問 21 (児童虐待をなくすために必要な取り組み)

児童虐待をなくすために必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。(は3つ以内)

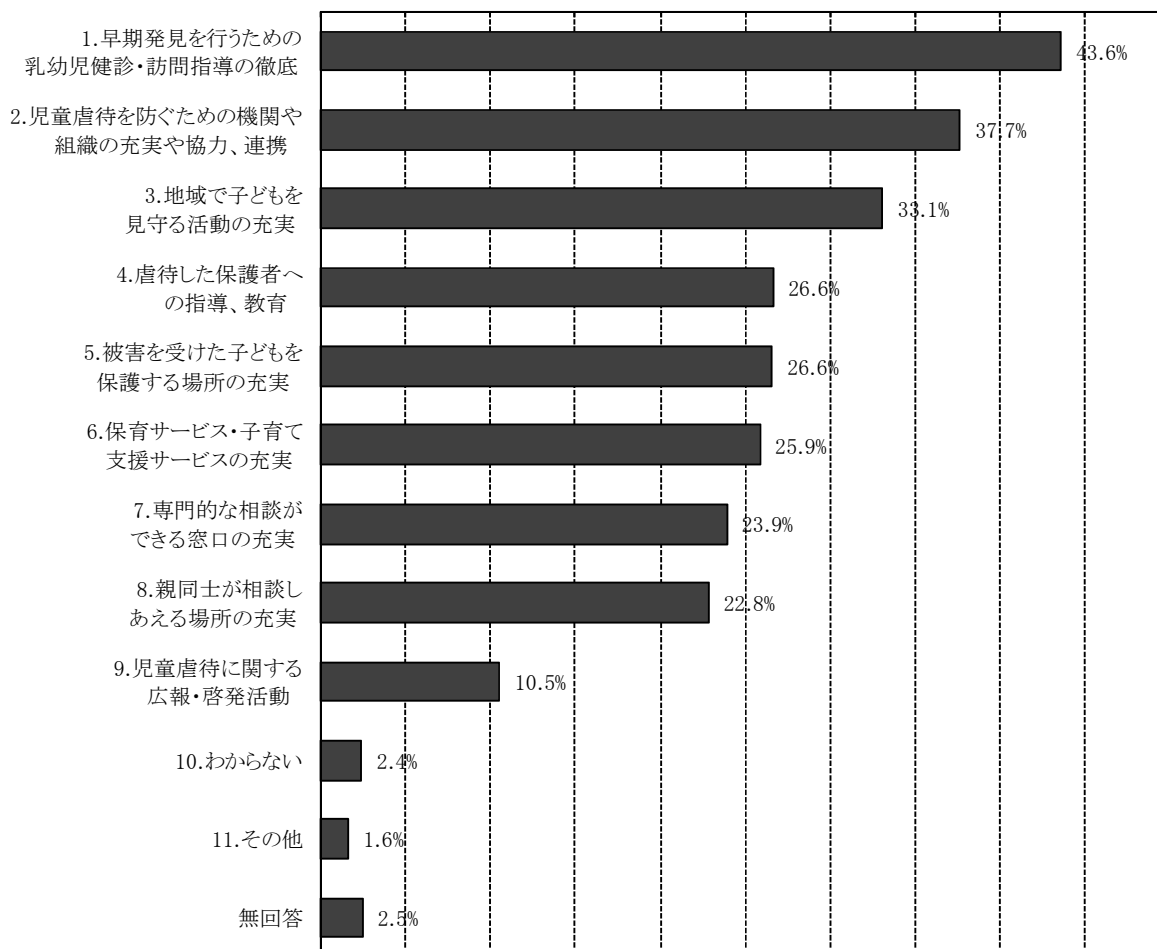


■児童虐待をなくすために必要と思うことは、「A. 早期発見を行うための乳幼児健診・訪問指導の徹底」(45.4%)、次いで「B. 児童虐待を防ぐための機関や組織の充実や協力、連携」(35.8%)、「C. 地域で子どもを見守る活動の充実」(31.1%)の順に高くなっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

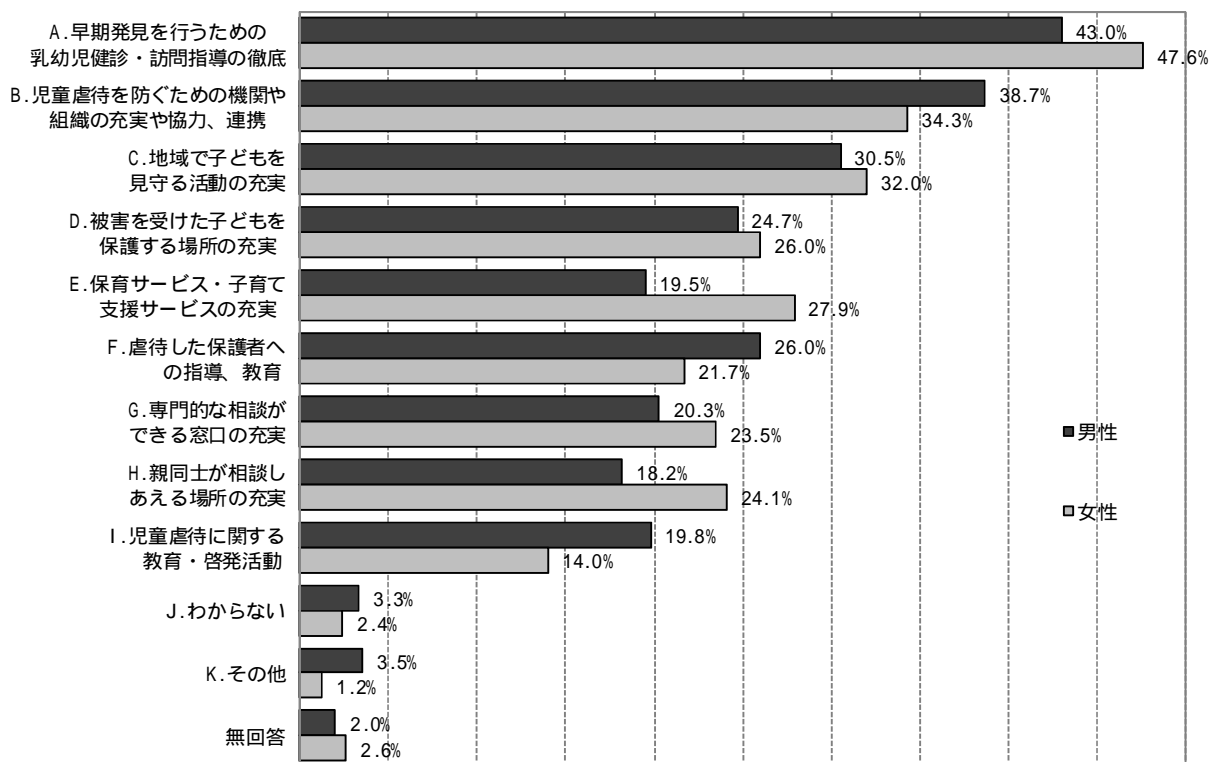
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 19 子どもへの暴力・虐待は、子どもの心身の成長及び人格形成に重大な影響を与えるだけでなく、子どもの生命の危機や次世代への影響も懸念されますが、児童虐待をなくすために必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から特にあなたの考えに近いものをお答えください。（ は3つ以内）



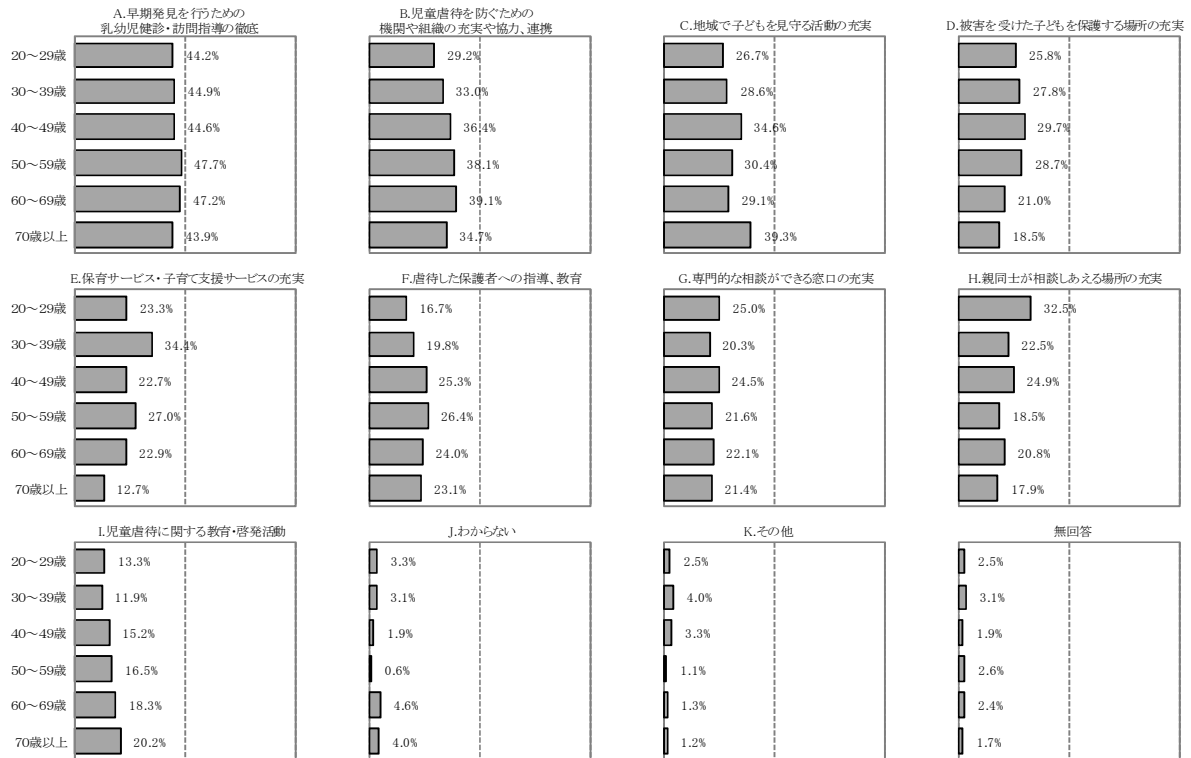
【性別・年齢との関係】

〔図 21-1〕 問 21 児童虐待をなくすために必要な取り組み と 性別 の関係



性別でみても〔図 21-1〕、男女とも「A. 早期発見を行うための乳幼児健診・訪問指導の徹底」(男性 43.0%、女性 47.6%) が最も高くなっている。次いで「B. 児童虐待を防ぐための機関や組織の充実や協力、連携」(男性 38.7%、女性 34.3%)、「C. 地域で子どもを見守る活動の充実」(男性 30.5%、女性 32.0%) などとなっている。

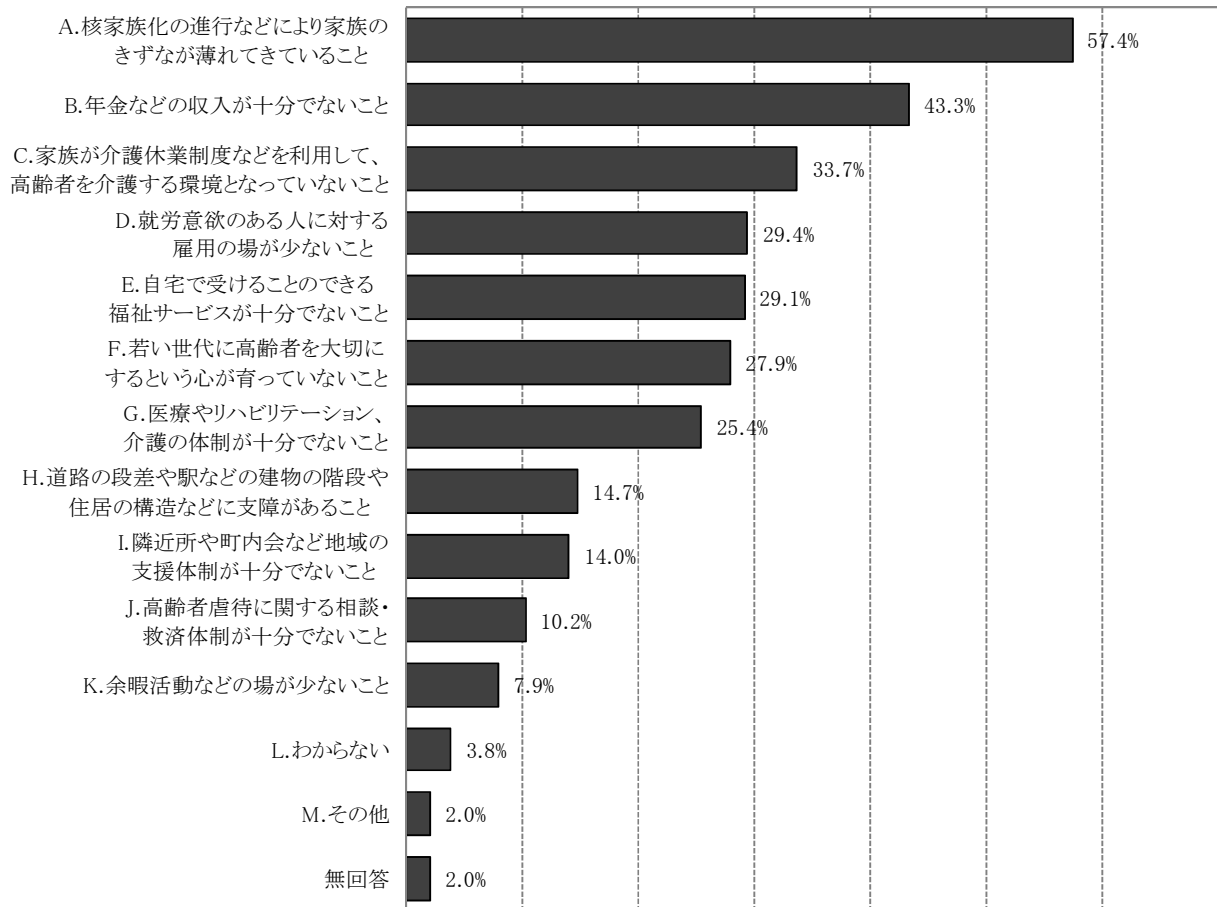
〔図 21-2〕 問 21 児童虐待をなくするために必要な取り組み と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 21-2〕、「A. 早期発見を行うための乳幼児健診・訪問指導の徹底」（20 歳代 44.2%、30 歳代 44.9%、40 歳代 44.6%、50 歳代 47.7%、60 歳代 47.2%、70 歳以上 43.9%）が全ての年代で最も高くなっている。また、「E. 保育サービス・子育て支援サービスの充実」は 30 歳代（34.4%）、「H. 親同士が相談しあえる場所の充実」は 20 歳代（32.5%）、「C. 地域で子どもを見守る活動の充実」は 70 歳以上（39.3%）が高くなっている。

問 22 (高齢者にとって生活の支障となっているもの)

高齢者が暮らしていくうえで、特に支障となったり、問題があると感じられるのはどのようなことだと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。(はいいくつでも)

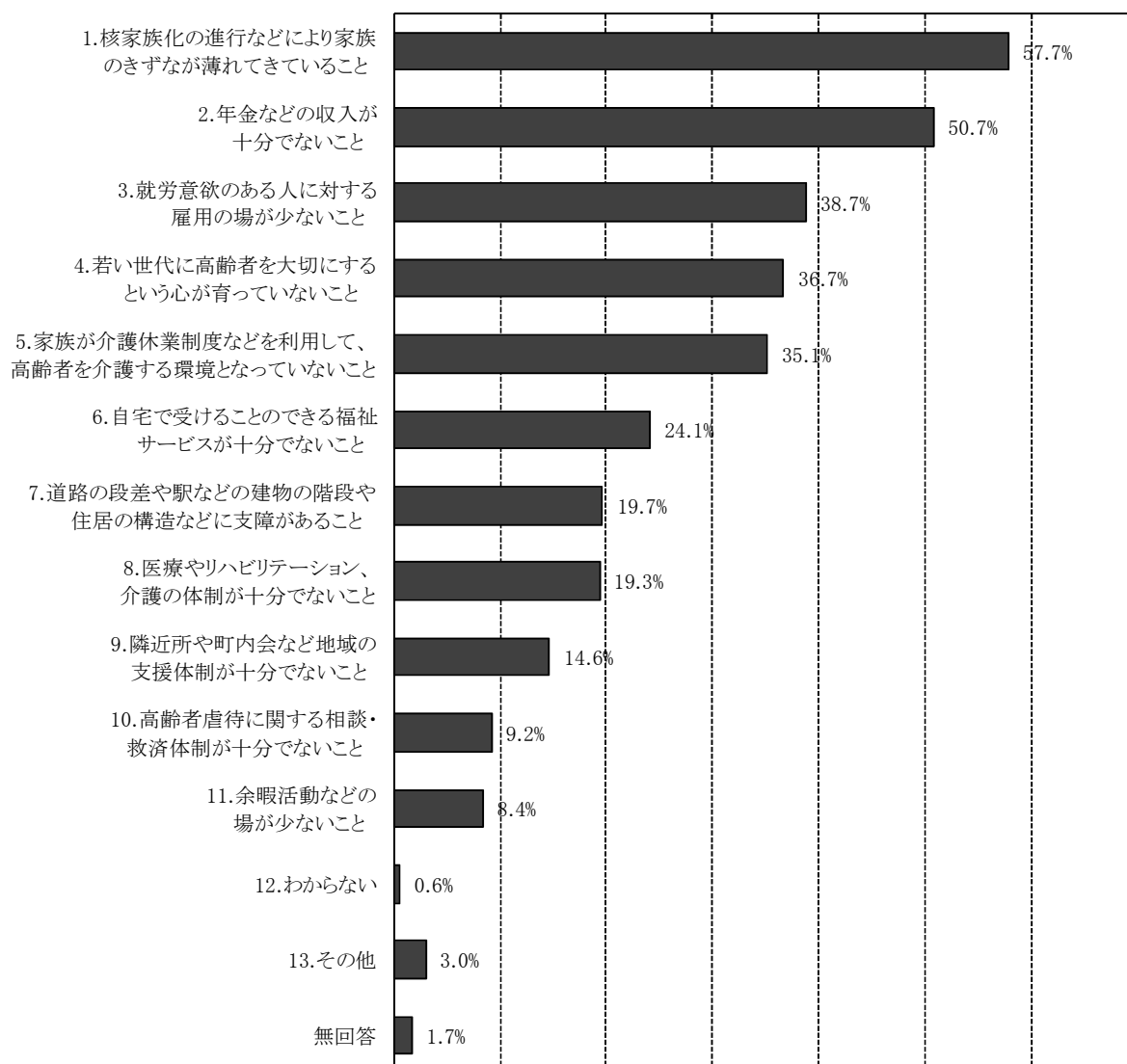


■高齢者にとって支障となったり問題があると感じるものは、「A.核家族化の進行などにより家族のきずなが薄れてきていること」(57.4%)が最も高く、次いで「B.年金などの収入が十分でないこと」(43.3%)となっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

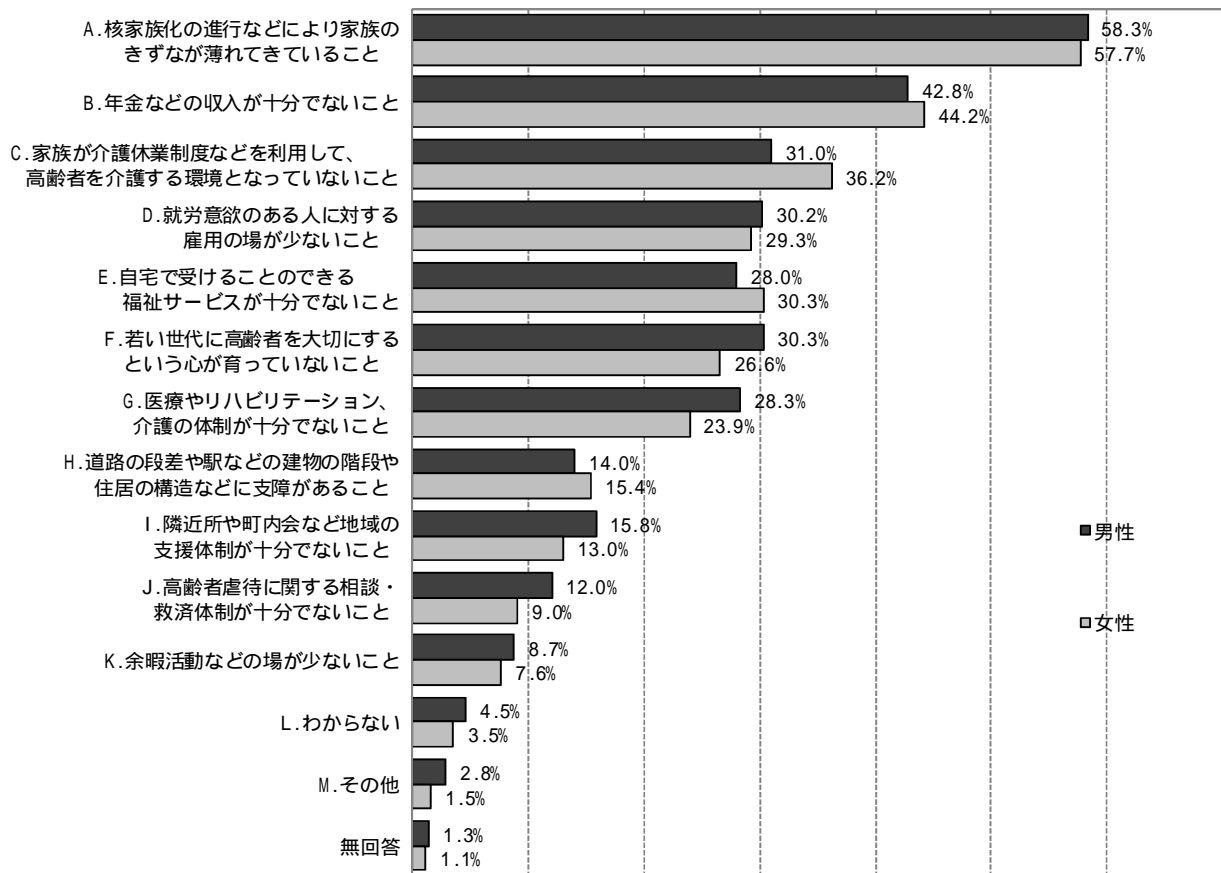
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 20- 問 20- で高齢者が暮らしていく上で「何らかの問題がある」と回答された方にお尋ねします。
高齢者が暮らしていくうえで、特に支障となったり問題があると感じられるのは、どのようなことだと思いますか。次の中から特にあなたの考えに近いものをお答えください。



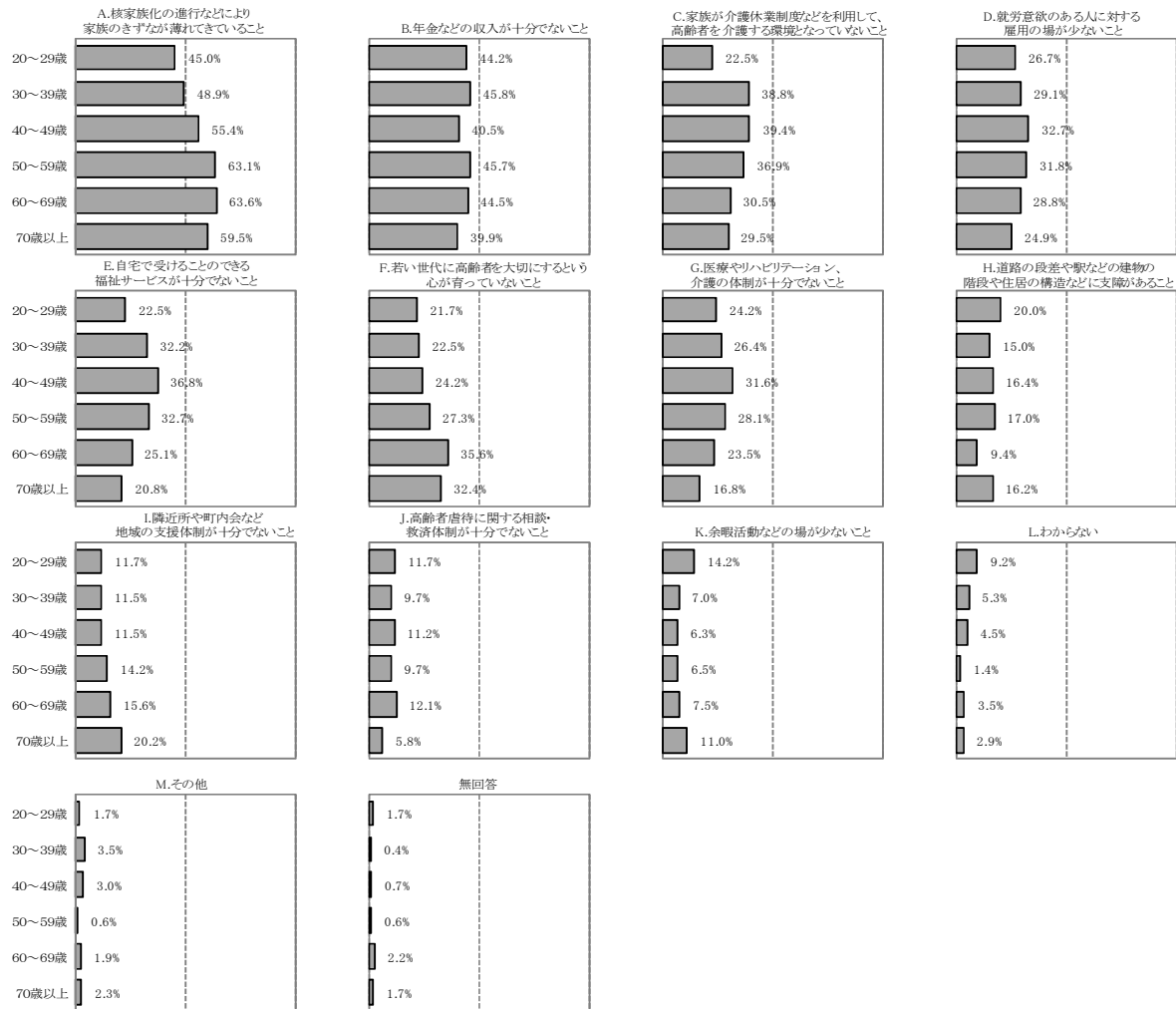
【性別・年齢との関係】

〔図 22-1〕 問 22 高齢者にとって生活の支障となっているものと性別の関係



性別でみても〔図 22-1〕、男女とも「A. 核家族化の進行などにより家族のきずなが薄れてきていること」(男性 58.3%、女性 57.7%) が最も高く、次いで「B. 年金などの収入が十分でないこと」(男性 42.8%、女性 44.2%) が高くなっている。

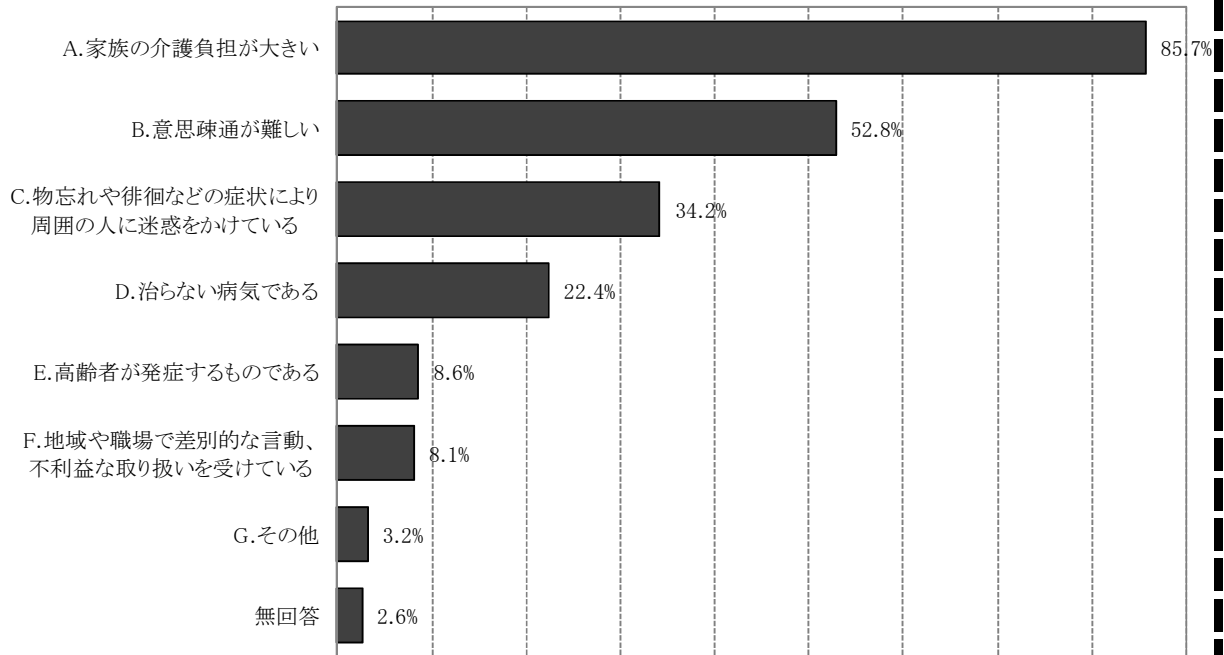
〔図 22-2〕 問 22 高齢者にとって生活の支障となっているものと年齢の関係



年齢別でみても〔図 22-2〕、全ての年代で「A.核家族化の進行などにより家族のきずなが薄れてきていること」(20歳代 45.0%、30歳代 48.9%、40歳代 55.4%、50歳代 63.1%、60歳代 63.6%、70歳以上 59.5%) が最も高く、40歳代以上ではいずれも5割以上と高くなっている。

問 23 (認知症の人に対する印象・感想)

認知症の人について、どのような印象・感想をお持ちですか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください(はいいくつでも)

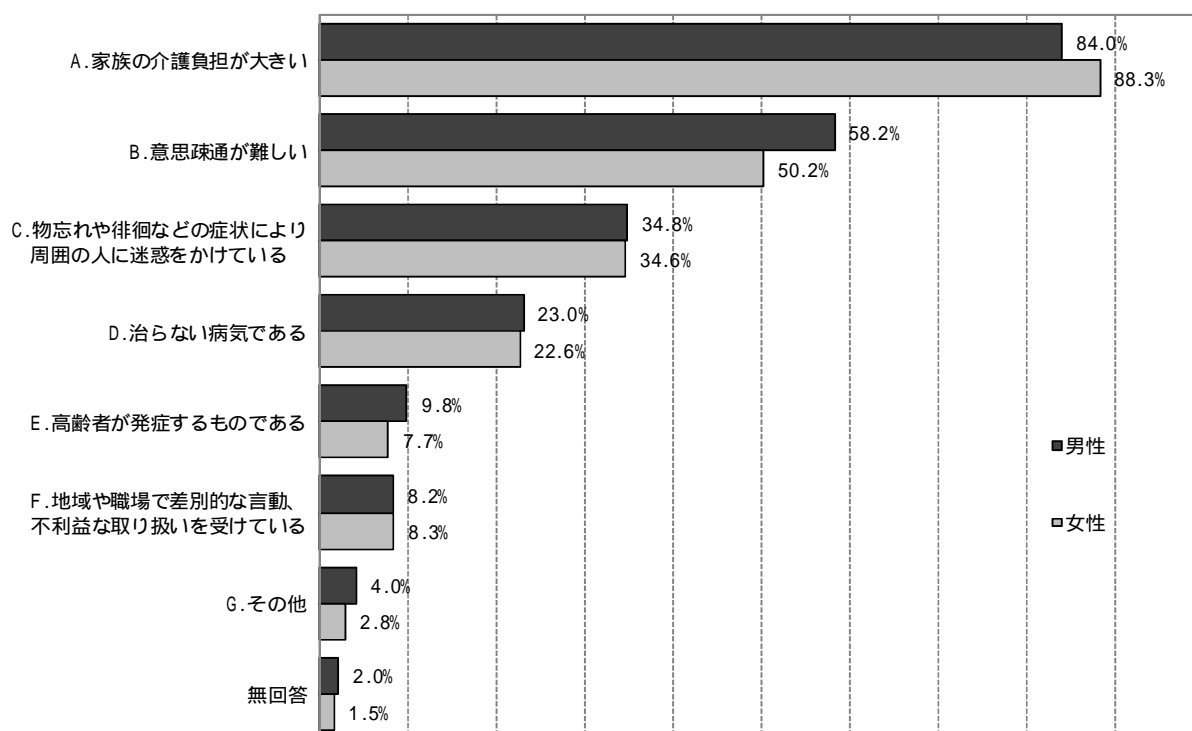


■認知症の人に対する印象・感想は、「A. 家族の介護負担が大きい」(85.7%)が最も高かった。

前回調査なし

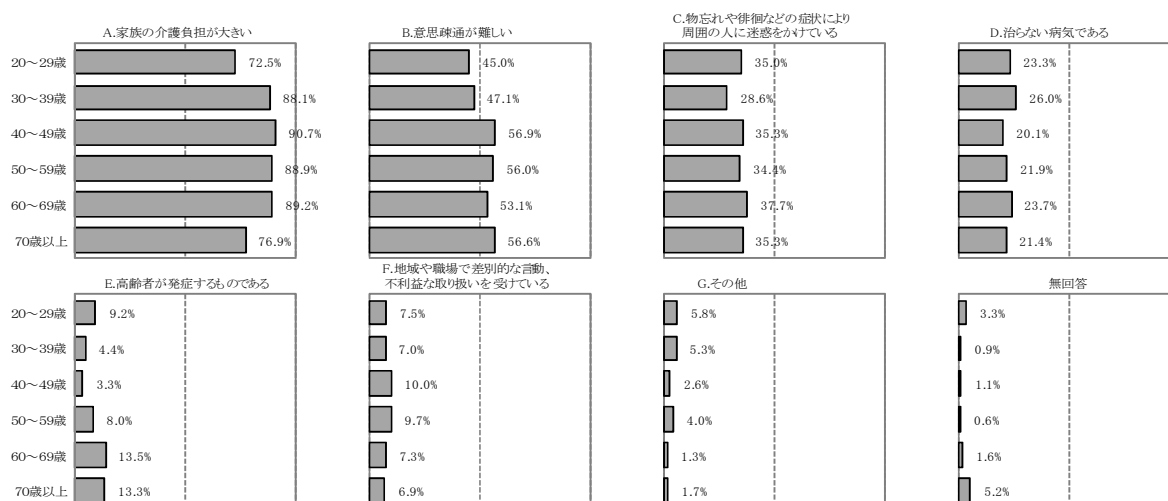
【性別・年齢との関係】

〔図 23-1〕 問 23 認知症の人に対する印象・感想 と 性別 の関係



性別でみても〔図 23-1〕、男女とも「A. 家族の介護負担が大きい」(男性 84.0%、女性 88.3%) が最も高くなっている。また、「B. 意思疎通が難しい」(男性 58.2%、女性 50.2%) も 5 割以上となっている。

〔図 23-2〕 問 23 認知症の人に対する印象・感想 と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 23-2〕、「A. 家族の介護負担が大きい」が 30 歳代から 60 歳代で 8 割を超えて高くなっている。また「B. 意思疎通が難しい」が 40 歳代以上で 5 割以上となっている。